

古家健治さん紺綬褒章受章

昨年2月に奨学資金として多額の私学資金として多額の私財を寄付されており、同褒章の受章は2回目となります。古家さんは「町民の子育てに役立ててほしい」と話し、大野町長は「子どもたちへの奨学資金として、有効に使わせていただきます」と感謝を述べました。



北海道指導農業士・北海道農業士称号贈呈式



日高振興局主催の『日高管内指導農業士・農業士会総会及び研修会 北海道指導農業士・農業士称号贈呈式』が2月19日に公民館で開かれ、北村日高振興局長より称号が贈呈されました。贈呈式では、次世代の農業の担い手に対し

育成指導などの役割を担う北海道指導農業士と地域農業の振興などに意欲的に取り組む北海道農業士として、それぞれ町内から4人が認定され、指導農業士に認定された小倉正信さんは「今後も町の農業を盛り上げていきたいです」と話しました。

大塚製薬(株)と

包括連携協定を締結

町と大塚製薬(株)札幌支店(今井慎也支店長)による『包括連携協定締結式』が3月8日に役場静内庁舎で行われました。今回の協定は、双方の健康づくりに対する取り組みの発展と町民の健康づくりに寄与することを目的に行われ、新型コロナウイルス感染症

の拡大防止のためオンラインで協定を結びました。同社は、当町を含め道内12市町村と協定を結んでおり、これまでに締結先とスポーツ少年団を中心に子どもたちへの熱中症対策啓発活動を実施され、今井支店長は「より一層、健康増進などに力を入れていきます」と話しました。



科学の森ひだか開催

北海道科学ステージ(藤村和廣代表)主催の『科学の森ひだか』が3月13日に公民館で開かれ、親子連れなど約70人が参加しました。このイベントは、科学の観察や体験学習を通じて、学習することの楽しさを体験してもらうことを目的に毎年



ワクチン接種を受ける小松院長

新型コロナウイルス感染症の

ワクチン接種開始

新型コロナウイルス感染症のワクチンが3月8日に町立静内病院に届き、医療従事者への優先接種が始まりました。院内対象者127人のうち、今回届いた75人分を医師や看護師などに接種。ワクチン接種は1人2回のため、3

週間後に2回目の接種が行われる予定です。管内で初めてワクチンを接種した小松幹志院長は「痛みもなくあっという間に終わりました。待ちに待ったワクチンが医療従事者や住民の希望となってくればうれしいです」と話しました。

(株)シズナイロゴスと農業振興

支援に関する協定を締結

町と(株)シズナイロゴス(伊藤功一郎代表取締役社長)による『農業振興支援に関する協定書締結式』が2月24日に役場静内庁舎で行われました。同社は、今後10年間、新規就農者の支援として、1次産業に寄与していきたい」と話しました。

